

環境・まちづくり特別委員会 送付5-2

「日本テレビ通り沿道まちづくりに関するオープンハウスについての陳情」に対する  
回答等を受けての行政の在り方を問う陳情書

受付年月日 令和5年1月16日

陳情者 提出者 1名

# 陳 情 書

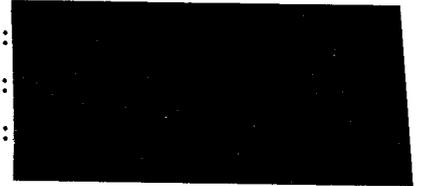
2023年1月16日

千代田区議会議長  
桜井 ただし 様

「日本テレビ通り沿道まちづくりに関するオープンハウスについての陳情」  
に対する回答を受けての行政の在り方を問う陳情書

等

陳情者：  
住 所：  
電 話：



要旨： 日本テレビの都市計画提案について、行政の言葉による納得のいく説明をお願いします。

理由：

- ①日本テレビによる二番町地区の再開発案の検討が、日本テレビ主体で進められているようで、大変困惑しております。行政主体で日本テレビと住民の意見の調整をお願いいたします。このままでは住民が分断され、ギスギスとした住みにくい町になります。
- ②昨年(2022年)、12月2日に開催されました環境・まちづくり特別委員会で配布されました資料の「環境まちづくり部資料 2-1」で、「『日本テレビ通り沿道まちづくりに関するオープンハウスについての陳情』について」の中で、展示内容「1-③ 区の説明内容(パネル)は、区で検討し、決定したものである。日本テレビの説明内容(パネル)は、計画の主体・説明責任は日本テレビであることから、すべて日本テレビで検討・決定したものであり、区は関与していない。」と回答している。そして、その費用について3-④で「区は、区説明用パネル作成・区実施アンケートお集計等(中略)495,000円(中略)負担となる。なお、日本テレビ作成の説明用パネル・当日配布資料・アンケート等に係る経費は、日本テレビが負担しており、区の関与はない」と回答しています。オープンハウスの区実施のアンケート\*結果をみると、問3で「ポジティブな面の説明に終始しており、想定されるネガティブな面に対する課題や対策が説明されていない」、「『説明会を行った』というパフォーマンスに利用されているよう」という意見があります。これらのご意見のように、このオープンハウスは日本テレビの宣伝活動に、区が巻き込まれているように感じます。行政が、行政の言葉で、計画の経緯を住民に説明し、日本テレビと住民との意見の調整をしてください。

\*日本テレビ通り沿道まちづくり協議会(第12回)

- ③日本テレビの「都市計画提案の概要」の中に、計画に当たって頂いたご意見としてアンケートで多くの方々からご意見を集約したように書かれていますが、このサンプルは主に番町の庭を利用している人に聞いています。しかし、このサンプルは住民を代表するとは言えないと思います。まるでロックミュージック会場に集う若者に「ロックとクラシックどっちがいい?」と聞いていたようなものではないでしょうか。



④同じく「都市計画の概要」の計画イメージの中で、地域課題を解決することを提案されていますが、その見返りとして本来の地区計画で高さ60mの制限と容積率を緩和することを提案されています。その採算について具体的にお示しください。そうでないと納得いきません。

「何が欲しい？」と聞かれ「リンゴが欲しい」と答えた人に、「じゃあ、1個1万円ね」と言われて、おいそれと買う人はいるでしょうか。ビルは長く残るものです。慎重に検討する必要がありますと思います。

⑤エリアマネジメントについて、どのような事業をされるのか、具体的にお示しください。

広場の運営管理だけであるなら、私の想像では机一つでできるのではないかとおもいます。

また、番町の庭では時々、音が立つようなイベントが行われています。どのようなイベントを開催し、なぜ<sup>別</sup>棟立ての建物を必要とするのかをお聞かせ下さい。

⑥広場の日照について、「都市計画提案の概要」では、日がさんさんと照る明るい素敵な絵が描かれています。が、季節や時間を考慮した現実的な絵を用いての説明をお願い致します。

以上